

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	デサントR&Dセンター	階数	地上2F
建設地	大阪府茨木市彩都やまぶき2丁目5	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年6月20日
敷地面積	22,220 m <sup>2</sup>	作成者	竹中工務店
建築面積	3,399 m <sup>2</sup>	確認日	2017年7月5日
延床面積	4,286 m <sup>2</sup>	確認者	竹中工務店



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 94%  
③上記+②以外の 94%  
④上記+ 94%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

0 46 92 138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の景観に配慮した10m以下の建物</li> <li>大庇、ハイサイドライト、ルーバーにより自然光と通風を採り入れる建築</li> <li>天井高の高い執務空間、十分なりフレッシュスペースを確保した快適性の高い建築</li> <li>敷地内においては既存樹木を活かしながら27.9%を緑化し、緑の量と質を確保した外構計画</li> </ul>	
<b>Q1 室内環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>タスク・アンビエント照明制御による必要照度の確保</li> <li>床吹出空調方式による居住域の温熱快適性の確保</li> </ul>	<b>Q2 サービス性能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・メンテナンスのしやすさに配慮した建築・設備計画</li> <li>電気・空調の将来増設スペースの確保</li> </ul>
<b>LR1 エネルギー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Low-eガラスの採用等による外皮の熱負荷抑制</li> <li>自然採光システムによる照明エネルギーの削減</li> </ul>	<b>LR2 資源・マテリアル</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>躯体材料におけるリサイクル資材の活用</li> <li>躯体材料以外におけるリサイクル資材の活用</li> <li>躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている</li> <li>化学物質を含有しない建材の活用</li> <li>交通への負荷を抑制する駐車場の確保</li> </ul>
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物環境の保全と創出に配慮した植栽計画</li> <li>周辺のまちなみや景観に配慮した建築計画</li> <li>歩行者空間へ風を導く配置・形状計画</li> <li>敷地内歩行者空間の暑熱環境に配慮した外構計画</li> </ul>
	<b>LR3 敷地外環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>風通しに配慮した高さ・形状・隣棟間隔の工夫</li> <li>熱的な影響に配慮した被覆材の選定</li> <li>熱的な影響に配慮した屋根面材の選定</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0041

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	デサントR&Dセンター					
		建設地	茨木市彩都やまぶき2丁目5番6番7番					
		用途/区分	事務所 集会所					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				3		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.2	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	4.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			4.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			2.4			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								